

第111期

中間報告書

自 2021年4月 1日

至 2021年9月30日



Fly to the Next



東洋埠頭株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当社は、2021年9月30日をもちまして第111期の中間決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけ、安定した配当政策を実施することを基本としております。この中間期の配当につきましては、既に決算短信で公表しておりますとおり、1株につき25円とさせていただきます。11月30日からお支払いすることといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

2021年11月

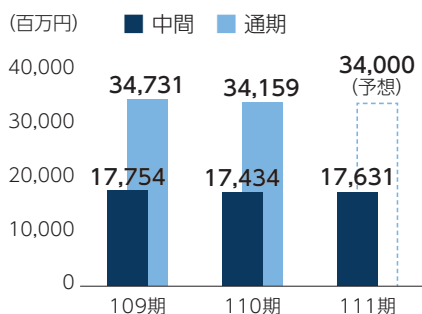
原 匡史

業績ハイライト

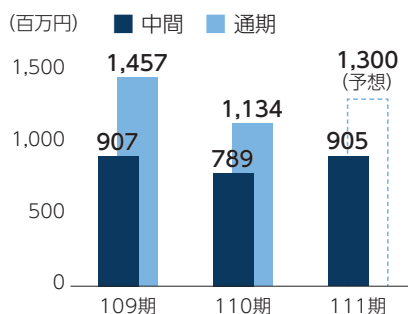
当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、依然として厳しい状況が続きましたが、海外経済の回復に伴う輸出貨物の増加などを背景に荷動きが回復基調となりました。

このような中、当社グループでは、グループ各社の連携を一層強化し、営業の拡大、経営基盤の強化、社会的責任の向上に取り組んだ結果、前年同期比で増収増益となりました。

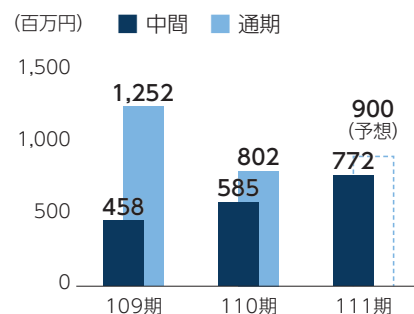
営業収入



営業利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益

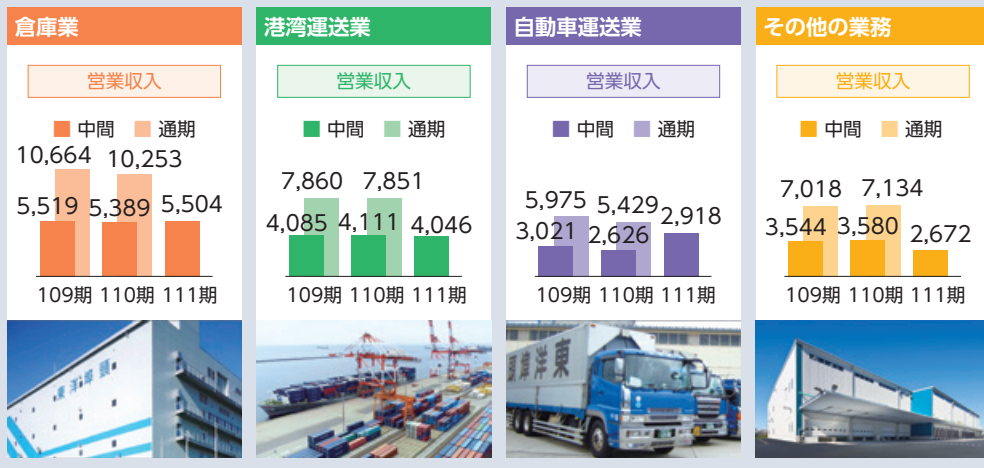


事業別概況

国内総物流事業 営業収入 15,142百万円

コンテナ取扱数量や倉庫保管残高は前年同期を下回りましたが、輸入青果物や穀物などの取扱数量は増加しました。

単位：百万円

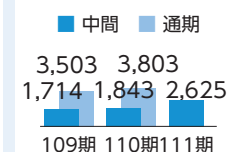


国際物流事業

営業収入
2,625百万円

ロシア極東からの鉄道の利用による取扱いが大きく増加しました。

単位：百万円



TOPICS

1 志布志支店 新倉庫2棟完成

志布志支店では、かねてより確保していた約27,500m²の広大な土地に、温度管理機能や重量物にも対応した新倉庫2棟、約7,900m²が8月に完成しました。

南九州では最大級の物流ターミナルとして機能し、収益向上を図るとともに、地域経済の発展に積極的に貢献してまいります。



2 志布志支店 微粒子のバラ貨物のトラック積込機を更新

微細な微粒子のバラ貨物を出荷する際には粉塵が飛散し、職場環境の改善課題となっていました。更新された積込機は、粉塵が一切飛散しないような構造としました。また、作業をほぼ自動化することにより作業員の負担を軽減しました。今後も職場環境の改善、省力化を目指した投資に積極的に取り組んでまいります。



3 川崎支店 東館完成

川崎支店では、老朽化した青果受付事務所と協力会社休憩所を合築更新した東館が2月に完成いたしました。働きやすい職場環境を確保するとともに、電気設備などを高い場所に設置し、高潮、津波等に備えています。今後も災害に強い施設の拡充を図ってまいります。



4 安全活動の強化

当社グループ全体の安全活動を一層強化するため、安全意識の向上、事故防止に向けた活動の充実に積極的に取り組んでいます。当期からは、職場ごとの安全活動に加えて、グループ一体での研修会を随時実施し、安全の確保と職場環境の改善を推進しています。今後もより一層の安全活動を展開してまいります。



5 鉄道による国際輸送への取り組み推進

国際物流事業を担う(株)東洋トランスでは、日本やアジア各国とロシアやヨーロッパ各国間の貨物を、ロシア極東の港を経由してロシア国内を鉄道で輸送する国際複合一貫輸送への取り組みを推進しています。新型コロナウイルス感染症の影響により船輸送の遅延が発生している中、安定した輸送日数と二酸化炭素排出量が少ない鉄道輸送のニーズは高まっています。



6 高校生の企業実習開催

鹿島支店では、毎年茨城県内の高校生を対象とした企業実習を開催しており、今年も多くの生徒さんが参加されました。職場見学や従業員との交流により、働くことへの関心と当社グループの理解を深めていただける機会となっています。今後も地域と連携して人材育成と人材確保に努めてまいります。



会社の概要 (2021年9月30日現在)

商号	東洋埠頭株式会社
創業	1929年5月
資本金	82億6,082万3,456円
従業員数	321名 (当社グループ861名)

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	原 匡 史
常務取締役	(安全・品質管理部長、総務部、経理部、情報システム部、業務監査部管掌) 萩 原 卓 郎
常務取締役	(川崎支店長兼港運部長) 西 修 一
常務取締役	(大阪支店長、九州地区統括) 山 口 哲 生
取締役	(東扇島支店長、倉庫・運輸統括) 鈴 木 康 司
取締役	(業務部長、青果営業部、経営企画部、国際営業部管掌) 三 上 慎 治
社外取締役	堀 尚 義
社外取締役	田 中 明 夫
取締役	(常勤監査等委員) 高 沢 由 二
社外取締役	(監査等委員) 吉 野 保 則
社外取締役	(監査等委員) 山 本 博 毅

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対して行います。
公告掲載URL	https://www.toyofuto.co.jp 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

株式の状況 (2021年9月30日現在)

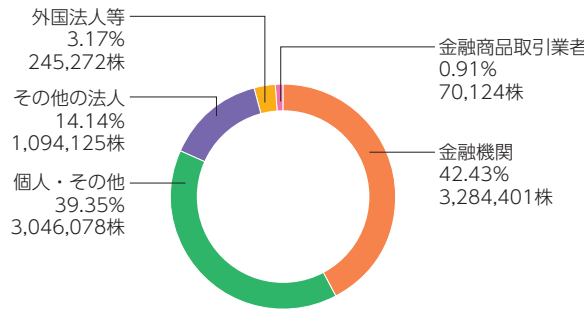
発行可能株式総数	25,830,000株
発行済株式総数	7,740,000株
株主数	5,413名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	669千株	8.66%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	660	8.55
株式会社三菱UFJ銀行	342	4.44
株式会社みずほ銀行	342	4.44
朝日生命保険相互会社	266	3.45
株式会社日本カストディ銀行	250	3.24
東京海上日動火災保険株式会社	215	2.78
明治安田生命保険相互会社	207	2.69
太陽生命保険株式会社	200	2.59
山内正義	175	2.27

(注) 持株比率は自己株式 (20,176株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



(注) 自己株式20,176株は「個人・その他」に含めております。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
及び電話連絡先	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 (第一部)
証券コード	9351

表紙説明 (Fly to the Next)

2028年度に創業100周年を迎えるにあたり、会社を発展させ、明日に向かって前進、飛躍しようという決意を込めたイメージデザインです。

